

2022年版愛知県ジュニア選手権大会女子適用規則

愛知県ジュニア女子適用規則（4部）

次に示すもの以外は、(公財)日本体操協会制定 採点規則2022年版体操競技女子採点規則を適用する。

採点の基本内容

- ・すべての種目の採点を10.00から行う。
- ・段違い平行棒と平均台は5つの技と終末技の合計6技以上で演技を構成する。
- ・ゆかは6技以上で演技を構成する。
- ・技の難しさではなく、美しい演技・減点のない演技を評価する。
- ・過失による最大減点は0.50を超えない。
- ・組み合わせ点、シリーズボーナス、終末技ボーナスなし。

跳馬

- ・跳躍技は前転とび(跳躍番号1.00)とする。
- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。

段違い平行棒 <構成要求> 不足は0.30の減点

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施(開始技と終末技を除く)
2. 後方浮支持回転(浮支持があれば満たす)
3. け上がり
4. 終末技
 - ・構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する」「高棒懸垂から低棒上に足をのせて低棒を握る」減点項目削除
 - ・前方/後方足裏支持回転の膝の曲がり減点なし。

平均台 <構成要求> 不足は0.30の減点

1. 180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身のリープまたはジャンプ
2. ターン(グループ3)または接転系の技/旋回
3. 方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技
4. 終末技
 - ・構成減点「難度表にない開始技」「偏った技の使用:演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン」減点項目削除

1. ゆか <構成要求> 不足は0.30の減点

1. 180度の開脚(前後/左右)または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ(難度表にある)の直接または間接(ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った)の組み合わせでの移動
2. 片足上のターン(グループ2)
3. 空中局面を伴う前方のアクロバット系の技
4. 空中局面を伴う後方のアクロバット系の技

その他

- ・段違い平行棒、平均台、ゆかの演技構成において、6技に満たない演技は1技不足につき各0.30の減点とする。
- ・段違い平行棒および平均台に限り、終末技においてウレタンマットの使用を認める。また、開始技を実施するために補助台の使用も認める。(但し、主催者側が準備したものに限る)
- ・跳馬のレーンに関する採点は適用しない。
- ・ゆかの境界線からの踏み出しはすべて各0.10の減点とする。
- ・段違い平行棒で倒立を経過する技は使用しない。使用した場合は各0.50の減点とする。(4部では初心者出場を推奨するため。)

愛知県ジュニア女子適用規則（3部）

次に示すもの以外は、（公財）日本体操協会制定 採点規則2022年版体操競技女子採点規則を適用する。

採点の基本内容

- ・すべての種目の採点を10.00から行う。
- ・段違い平行棒と平均台は5つの技と終末技の合計6技以上で演技を構成する。
- ・ゆかは6技以上で演技を構成する。
- ・技の難しさではなく、美しい演技・減点のない演技を評価する。
- ・過失による最大減点は0.50を超えない。
- ・組み合わせ点、シリーズボーナス、終末技ボーナスなし。

跳馬

- ・跳躍技は前転とび（跳躍番号1.00）とする。
- ・2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。

段違い平行棒 <構成要求>不足は0.30の減点

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 浮支持回転倒立（45度以上）
 3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
 4. 倒立に到達する技
 5. 終末技
- ・構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する」「高棒懸垂から低棒上に足をのせて低棒を握る」減点項目削除

平均台 <構成要求>不足は0.30の減点

1. 180度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
 2. ターン（グループ3）または接転系の技／旋回
 3. 方向の異なる（前方／側方と後方）アクロバット系の技
 4. 空中局面を伴う技を含む、アクロバット系の技
 5. 終末技
- ・構成減点「難度表にない開始技」「偏った技の使用：演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン」減点項目削除

ゆか <構成要求>不足は0.30の減点

1. 180度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. 片足上のターン（グループ2）
3. 前方の宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）
4. 後方の宙返り
5. 1本のアクロライン

その他

- ・段違い平行棒、平均台、ゆかの演技構成において、6技に満たない演技は1技不足につき各0.30の減点とする。
- ・開始技を実施するために補助台の使用も認める。（但し、主催者側が準備したものに限る）
- ・跳馬のレーンに関する採点は適用しない。
- ・ゆかの境界線からの踏み出しはすべて各0.10の減点とする。

愛知県ジュニア女子適用規則（2部小学生・中学生）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2022年版および2022年版変更規則Ⅱを部分変更して適用する。

跳馬

- 2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。
- 種目特有な実施減点 ※グループ1の跳躍技のみに適用
 - 支持局面 ・支持が長い - 0.10 / 0.30 / 0.50
 - 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける - 0.10 / 0.30 / 0.50

段違い平行棒

<構成要求>

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 浮支持回転倒立
 3. 棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
 4. 倒立に到達する技
- 構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する - 0.50」 減点項目削除

平均台

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）または接転系の技／旋回
3. 空中局面を伴う技を含む、アクロバット系の技
4. 方向の異なる（前方／側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後／左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. B以上の宙返り
3. 前方の宙返りを含むアクロライン（片足踏み切りの宙返りは除く）
4. 後方の宙返りを含むアクロライン

<平均台、ゆか共通>

芸術性と構成の減点

- ・身体の姿勢が悪い（頭部、肩の位置、胴体） - 0.10 / 0.30 / 0.50
- ・大きさ不十分（身体を最大限に使った動き） - 0.10 / 0.30 / 0.50
- ・つま先が伸びない／足が緩む／足が内向き - 0.10 / 0.30 / 0.50

<第8章 一般欠点と減点表>

- ・一前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.10 / 0.30 / 0.50

<終末技ボーナス>

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、A難度またはそれ以上の終末技に対して以下のボーナスが与えられる。

- ・Aの終末技 + 0.30
- ・B以上の終末技 + 0.50

*Dスコアに加算される。

*大過失のある実施にもボーナスが与えられる

愛知県ジュニア女子適用規則（1部Ⅱ）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2022年版および2022年版変更規則Ⅱを適用する。

跳馬

- 2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。
- 種目特有な実施減点 ※グループ1の跳躍技のみに適用
 - 支持局面 ・支持が長い - 0.10/0.30/0.50
 - 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける - 0.10/0.30/0.50

段違い平行棒

<構成要求>

1. 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施（開始技と終末技を除く）
 2. 後ろ振り上げ倒立（閉脚）
 3. 2つの異なるB難度以上の棒に近い回転系の技（空中局面を伴わない）
 4. 180度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技
- 構成減点「低棒から高棒へジャンプして移動する - 0.50」減点項目削除

平均台

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）または接転系の技/旋回
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系シリーズ（同一技でもよい）
4. 方向の異なる（前方/側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
 2. ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
 3. 前方の宙返りを含むアクロライン（片足踏み切りの宙返りは除く）
 4. 後方の宙返りを含むアクロライン
- ※構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

<平均台、ゆか共通>

芸術性と構成の減点

- ・身体の姿勢が悪い（頭部、肩の位置、胴体） - 0.10/0.30/0.50
- ・大きさ不十分（身体を最大限に使った動き） - 0.10/0.30/0.50
- ・つま先が伸びない/足が緩む/足が内向き - 0.10/0.30/0.50

<第8章 一般欠点と減点表>

- 前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.10/0.30/0.50

<終末技ボーナス>

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、A難度またはそれ以上の終末技に対して以下のボーナスが与えられる。

- ・Aの終末技 + 0.30
- ・B以上の終末技 + 0.50

*Dスコアに加算される。

*過失のある実施にもボーナスが与えられる。

愛知県ジュニア女子適用規則（1部I）

（公財）日本体操協会制定 採点規則2022年版および2022年版変更規則Iを適用する。

跳馬

- 2回の跳躍を実施し、良い方のスコアを有効点とする。
- 種目特有な実施減点 ※グループ1の跳躍技のみに適用
 - 支持局面 ・支持が長い - 0.10/0.30/0.50
 - 第2空中局面 ・ダイナミックさに欠ける - 0.10/0.30/0.50

段違い平行棒

<構成要求>

1. 高棒から低棒へ移動する空中局面を伴う技
2. 空中局面を伴う技（構成要求1とは兼ねられない、終末技を除く）
3. 異なる握り（後振り上げ、開始技と終末技を除く）
4. 360度以上のひねりを伴う空中局面を伴わない技（開始技を除く）

平均台

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身のリープ、ジャンプを1つは含む、少なくとも2つの異なるダンス系の技からなる組み合わせ
2. ターン（グループ3）または接転系の技/旋回
3. 1つの空中局面を伴う技を含む、少なくとも2つの技からなるアクロバット系のシリーズ（同一技でもよい）
4. 方向の異なる（前方/側方と後方）アクロバット系の技

ゆか

<構成要求>

1. 180度の開脚（前後/左右）または左右開脚屈身の跳躍技を1つは含む2つの異なるリープまたはホップ（難度表にある）の直接または間接（ランニングステップ、小さなリープ、ホップ、シャッセ、シェネターンが入った）の組み合わせでの移動
2. ひねり（1回ひねり以上）を伴う宙返り
3. 2回宙返りまたは2つの異なる宙返りを含む1つのアクロライン
4. 同じまたは異なるアクロラインで後方宙返りと前方宙返り（片足踏み切りの宙返りは除く）
※構成要求の2、3、4はアクロラインの中で実施しなければならない。

<平均台、ゆか共通>

芸術性と構成の減点

- ・身体の姿勢が悪い（頭部、肩の位置、胴体） - 0.10/0.30
- ・大きさ不十分（身体を最大限に使った動き） - 0.10/0.30
- ・つま先が伸びない/足が緩む/足が内向き - 0.10/0.30

<第8章 一般欠点と減点表>

—前向きでない構成（段違い平行棒、平均台、ゆか） - 0.10/0.30/0.50

<終末技ボーナス>

段違い平行棒、平均台、ゆかにおいて、B難度またはそれ以上の終末技に対して以下のボーナスが与えられる。

- ・Bの終末技 + 0.30
- ・Cの終末技 + 0.50
- ・D以上の終末技 + 0.70

*Dスコアに加算される。

*大過失のある実施にもボーナスが与えられる。

〈Aの難度が認められている技〉

① 2022年版採点規則「変更規則Ⅰ、Ⅱ」に記載されている技

	4部	3・2・1部
扱い方	1技として数えられ 構成要求にも使用できる	1技と数えられるが、構成要求、組み合わせ点、 シリーズボーナスには使用できない

② 4部のみ以下の技もA難度として認める

段違い 平行棒	「そんきょ」「さか上がり」「大振りさか上がり」「棒下振り出し下り」
平均台	「前転とび下り」「ロンダート下り」
ゆか	該当する技なし

器具

	跳馬	段違い平行棒	平均台		ゆか
	高さ	高さ	高さ	演技時間	演技時間
3部	110cm	高棒255cm 低棒175cm	125cm	90秒以内	90秒以内
2部	小学生110cm 中学生125cm				
1部	125cm				

2022年 2月

愛知体操協会 女子審判委員会